

# 光石物語

**西熊城跡(大岩屋)**  
 室但馬守貞吉が祖谷の窪庄から  
 葦生に進出し、最初の拠点として  
 土地を拓き、一時住んだ所と伝ね。  
 1302年、貞吉は窪庄を弟の佑盛に  
 譲り、移住開拓した土地を「保」と  
 名付け、子孫代々栄えた。  
 その後高尾城(高井城?)に移ると  
 される。  
 現地には大きな巨岩が森の中にひそ  
 び、近づくのその巨大さに圧倒される。  
 岩屋の中には御神酒を祀った形跡があり、  
 前側は少し平坦地となっており、客屋があつた  
 ことだろう。谷も近く水には囲まれていると  
 思われる。しかし、この深山でどのような営みが  
 行なわれていたのか。  
 往還はいつの時を越えて祖谷に通じ物産や  
 人々の交流の道でもあつた。

**西熊城跡(大岩屋)**  
 大岩屋  
 33.48.02  
 133.58.03

奥物部の山は急峻で、脆い地帯の  
 地帯でもある。  
 山は動かないものと思いきや、  
 がちだが山も自然の一部。  
 時とともに姿を変えて行く。  
 国有林ではヒカリ石で地帯の調査  
 と行い、地域の安全を確保する  
 治山対策の強化を行っている。

奥山の森林は下流の  
 都市部と繋がっている。  
 物部の自然環境は  
 物部川流域全体  
 と考えてほしい。

(注)  
 この位置は道が寸断  
 され、不明瞭な所  
 崩壊地もあるため  
 通行はできない。

林道西熊-別府線が開通する  
 までは、三嶽への登山には  
 バスで終点「保影」まで来て  
 和久保へ急坂を登って  
 この往還を歩いていた。

至和久保

物部川の急流部である西熊山は  
 下流の葦生、中流のヒカリ石、上流の  
 物部の落葉広葉樹が77%を占めて  
 いる。これらの木々が落した葉が  
 土の中のミネラルを供給する。  
 などの土の中の生き物に分解  
 されて土も豊かになる。  
 腐葉土層を厚くする。  
 1cmの厚さの腐葉土ができるには  
 100年~200年もの長い時間か  
 かることを考えられている。カワの土層

至とおりが原

光石  
 久保の大平柳井谷、外三嶽の  
 字が「室光石」と改称さ  
 れた。昭和26年2月15日

西熊林道

大太平洋戦争終結後の食料難を緩和するため、山林原野で  
 開墾可能な土地を行政が買い上げ、これを開拓希望者に  
 売り渡し、永住して農業に従事させる方策がとられ、各地に  
 新しい開拓地が誕生していった。  
 物部でも植山村の上田と、ここ光石に開拓地が設けられ  
 昭和23年より入植して開拓が始まった。  
 光石では21戸で十町寺を開拓し、ひえ、あわ、そば、大豆、  
 ジャガイモ、陸稲などを栽培し、牧場も開いていた。  
 しかし、次第に食料が豊かになり、食生活も変わり、経営を  
 近代化する資金調達など多くの問題が一人一人と  
 産農者が増えて行き、やがて全員が下山して、土地は元の  
 売主が買い戻し、開拓の希望は消えた。続物部村史にある。

**光石の由来**  
 開拓者の数人が雨で仕事の  
 できない日は、ラジオも入らず  
 何もできないためこの大岩をガラス  
 でゴシゴシ磨いて光らせようとして  
 いたことに由来する。  
 今でもこの岩の南西に面した  
 表面にはガラスの跡が残リ  
 ツヤツヤに光って見える。  
 今でもミツマタやハチクが茂り  
 藪の中にあるが、当時はさや  
 対岸の往還からはまぶしく  
 光って見えていたことだろう。

公立庫蔵さん様  
 小龍蔵さん様  
 お二人に教えてもらう。

昔はワサビ田が  
 西り出荷されて  
 いた。

井地山や勘定山など  
 物部の南の山並みか  
 良く見える。

ヒキカエル  
 昔は農家では養蚕が盛んで、  
 ある日、カワ部屋にヒキカエルが入り込  
 んで、ヒキカエルはカワ部屋に侵入し、  
 そとを見つけたおひねり足に赤い布  
 を巻いて、山の上へ逃げ去る。  
 向う向うに放したおひねり足は、  
 赤い布を巻いたカワ部屋が帰って  
 いない。  
 不思議に思い、おひねり足に向  
 う向うに放したおひねり足は、  
 これはおひねり、今度は  
 こっち向うに放した。  
 おひねり足は、おひねり足は、  
 どうもヒキカエルは人に置かれ  
 たら、180度くると向きを変  
 えて、おひねり足は、  
 くるりと向きを変えて、おひねり  
 カエルと呼ぶのかもしない。

光石  
 33.47.48  
 133.58.37

展望台  
 三嶽-西熊-天狗谷-伊予  
 地蔵の頭など一望  
 することが出来る。  
 古いバングローもある。  
 看板には山の名前や  
 西熊城跡(大岩屋)の  
 位置も記されている。

企業局の森

